











いもにかい

実施日：令和８年１０月２０日

対象児：全園児

芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600 年代半ば頃の江戸時代遡ります。
山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。
船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。







芋煮会は２～５歳児が携わり豚汁作りをしました。畑で育てた５歳児の里芋、ごぼうも収穫して使いました。２歳児はしめじさき、３歳児は白菜ちぎり、４歳児はこんにゃくちぎり、５歳児は大根とにんじんを包丁で切り芋煮汁が完成です。行事参観として５歳児保護者にも見守り頂き、大きな鍋でつくる過程を見たり、栄養クイズをしたり、楽しい時間を過ごしました。３歳児以上はおにぎり作りにも挑戦。混ぜ込みご飯や好きな具を選び優しく握って作りました。みんなで作って食べて、おいしい芋煮会になりました。園長小川





